

基小だより

明日咲くつぼみ



あま市立基目寺小学校

令和2年度 第8号

令和2年. 10. 8

学習の評価について

今年度から、個人懇談を通して、前期の通知表を渡すことになりました。そのため、生活・学習面について、直接、詳しく話をさせていただくことになりましたので、前期については、総合所見の記述がなくなりました。（これは、市内のすべての小中学校共通で、次年度以降も継続します。）

また、今年度より新しい学習指導要領が本格実施されたことに伴い、学習評価の観点も「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に統一されました。これらは、未来の予測が困難なこれからの時代をたくましく生きぬいていくために、必要な資質・能力としてまとめられたものです。教科により3観点・4観点・5観点とばらつきのあった従来の評価よりも、とてもすっきりとわかりやすくなったと思います。

各学年・各教科ごとに学習の観点は、それぞれ通知表に記載されています。詳しくはそちらの記述をお読みください。ここでは、それらの観点をどのように評価しているのか、言いかえれば、どんな努力すれば、成績の向上に結びつくか、期待されている資質・能力の育成につながるのかをアドバイスします。多少学年や教科によって違う面もありますが、高学年の主要四教科を念頭において記述します。

「知識・技能」・・・いわゆる「できるか」「わかっているか」を評価します。単元ごとに行っているペーパーテストで高得点をあげることが期待されます。そのためには、日頃の授業から、「今日の学習では何を学ぶのか」というめあてをしっかりと意識して、授業に臨んでください。授業中の実験や資料の読み取り、練習問題などに意欲的に取り組むことで技能は身につきます。間違えたところやわからなかったところを大切に、そこを毎日の学習で克服していきましょう。

「思考力・判断力・表現力」・・・これは、身に付けた「知識・技能」を生かして、考えたり、決めたり、伝えたりする力を評価します。単に「できる」だけでなく「考える力」「説明できる力」が求められます。ペーパーテストの結果のみでなく、単元のまとめの学習活動（新聞づくり・ディベートなど）における取り組みの様子や発表の内容、ノート（プリント）への考えの記述内容が評価されます。力をつけるには、毎日の授業を大切にする事です。まず、自分の考えをしっかりとノート（プリント）に記述し、グループやクラス全体での話し合いにも積極的に取り組み、考える力や考えを表す力・伝える力を磨いていきましょう。

「主体的に学習に取り組む態度」・・・これはそれぞれの学習に自ら進んでねばり強く取り組んでいるか、自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかといったことを評価します。課題に対して丁寧に取り組む姿勢やあきらめずに取り組む姿勢は、ノート（プリント）への記述や家庭学習の取り組みで評価します。また、毎時間の「授業のふりかえり」で、学習内容のポイントを自分の言葉でまとめられているかや、それらをこれからの生活に生かそうとしているかもとても大切です。授業中に時間がないときも家庭学習で「授業のふりかえり」をノート（プリント）にしっかりと記述していきましょう。

・それぞれの観点ごとに、「◎（十分に満足できる）」「○（おおむね満足できる）」「△（もう少し努力がいる）」の3段階で評価をします。

・3年生以上は、学年末に年間の学習状況を、3観点とも◎の教科は「3」2観点以上で△の教科は「1」、それ以外は「2」の3段階で「評定」をします。